

総選挙で命もる新しい政治を

候補者先頭に388力所で宣伝

広島に原爆が投下されて76年目の6日、近畿各地で宣伝行動が取り组まれ、「総選挙で核兵器禁止条約に参加する政権を」「命もる新しい政治を」などの訴えに大きな反響が寄せられました。

大阪に緊急事態宣言が出された下でしたが、総選挙区候補を先頭に積極的に取り組まれ、388力所で13.2%の支部、1403人、258議員が1万3204枚のピウを配布しました。

◇こくた恵二国対委員長・衆院議員(比例・京都1区)は京都市中京区のJR二条駅前、原田完府議団長や後援会の人たちとともに訴え。核兵器禁止条約を批准する政治への転換へ改めて決意を表明。政府が新型コロナ患者の入院に制限を設ける方針を打ち出したことについて、「命を選別し医療を放棄することに他ならない。こんな政治は、もう変えないといけない」と、総選挙での党の躍進を訴えました。



◇清水ただし衆院議員(比例・大阪4区)は、大阪市城東区の嶋野(しぎの)駅前で地元の党支部・後援会とともに早朝宣伝。原爆投下の午前8時15分に黙とう。コロナ感染者急拡大について「封じ込めのための具体的対応を怠り、国民に自粛を求めながら五輪を開催するという矛盾したメッセージを届けてきた菅政権や維新府政の責任は大きい」と指摘。五輪中止、PCR大規模検査や医療体制確保など早急な対策を訴えました。

◇こむら潤衆院比例・兵庫8区候補は、阪神尼崎センタープール前駅前で。核兵器禁止条約への署名・批准を求める請願が昨年の尼崎市議会で採択され、市議として賛成討論をおこなったことを紹介。核兵器のない世界の実現と憲法を守り抜く決意を表明しました。

◇西田さえ子比例候補は、総選挙で日本共産党の躍進、野党連合政権を実現し、「命、暮らし、営業を守る新しい政治を実現しよう」と訴えました。

◇新たに小選挙区候補として発表された西川まさかつ奈良3区候補は、大和高田市で、太田敦県議、沢田洋子市議らとともに宣伝。子どもと一緒に自宅から出てきて激励する女性がいきました。

◇奈良県斑鳩町のJR法隆寺駅で、宮本次郎衆院奈良2区候補が宣伝。「奈良県も自宅待機者が120人を超えました。菅首相の『重症者以外は自宅待機』の方針は撤回を」と訴えると「がんばってください」と声がかかりました。

◇神戸市の山電板宿駅前、赤田かつのり3区候補が宣伝。神戸市須磨区の人たちが立ち止まって「お宅、何党?」「日本共産党です」「私は、ずっと共産党好きでした!」「是非、支援の輪を広げてくださいね!」「わかりました!」

21近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 38(2021.8.9)